



▼ 農学研究院

酒井 かおり

助教



Profile

私立東明館高等学校、九州大学農学部農学科卒業。九州大学大学院生物資源環境科学府植物資源科学専攻修士課程、同博士後期課程修了、博士(農学)学位取得。九州大学大学院農学研究院助手を経て現職。

わたしの研究

キウイフルーツの基礎研究とブドウの新品種実用化

果樹が研究対象で、現在はキウイフルーツやその近縁種であるサルナシ、BKシードレスという九大で開発された新品種のブドウなどを中心に研究を進めています。キウイフルーツは日本では1960年代に栽培が始まった比較的新しい果樹です。日本に自生するサルナシは多様性に富んでおり、植物学的に大変興味深いです。一方、ブドウは歴史が長い。BKシードレスは九大で20年以上前から大切に育てられてきた品種で、私は実用化に向けた取組みから本格的に関わるようになりました。関連分野の先生方だけでなく、生産者の方々と連携しながら、実用化に向けた取組みを進めています。

これが魅力☆

基礎と応用 それぞれの魅力

基礎的な部分と実用的な面の両方に関われることが魅力だと思います。キウイフルーツの基礎研究とブドウの新品種実用化にはそれぞれに違う面白さがあり、どちらも楽しんでます。植物の研究は、花が咲くとき、実がなるときのなどの植物の生育サイクルに人間が合わせて動きます。ときどき人間の方が植物に利用されているんじゃないかと思うこともあります。

キャリアパス

生きもの愛をつらぬく

小さいころから動物や植物が好きで、受験の時も、生物の勉強ができるといいなと思っていました。理学部と農学部のどちらかで迷いましたが、学べる範囲が幅広いこと、学んだ内容が産業に結びつく可能性が高いこと、そして育てる過程が重要であることなどから、農学部に進学しました。九大の農学部では2年時にコース分けがあります。動物か植物か、はたまた金魚も好きだったので水産もいいかもと悩みましたが、ちょうどその時、植物をよく育てていたのも、花や野菜、木などの身近な植物について勉強できそうな農学分野を選び、3年生になると、園芸学研究室に配属されました。大学院博士課程まで進むかどうかは悩みましたが、当時の研究対象が黄花のツツジで、分かるまで数年かかる結果を是非自分で確かめたいと思い、研究を続けることにしました。

大切なことは
~マジック・ワード~

その時にできることをやろう

元気な時は、いっぱいやればいけれども、どうしてもできない時は、その時にできることをできる範囲でやったらいいと思っています。実験でも、花が咲いてないときに交配をしようと思っててもできないし、たくさん咲く年もあれば咲かない年もあります。

凹んでも
これで克服

寝る!!

とにかく寝ます。あまり眠れないということもなく、寝たら元気になっています。

わたしの
おとも

長靴、剪定ばさみ、 日よけ帽子

果樹園の仕事にこれらは欠かせません。長年愛用しているので、年季が入っています。



好きな国

ニュージーランドとトルコ 国際シンポジウムでの 出会いから

ニュージーランドは最近学会で行った国です。郊外の果樹園を視察する機会があり、少し街を離れると自然が豊かで広がりがあり、とても良かったです。果物マーケットには北半球ではなかなか見かけない果物も並んでいて、ワクワクしました。泊まったホテルに小さなキッチンが付いていたので、現地の食材を買って調理したのも楽しかったです。キウイフルーツの季節には少し早かったものの、サルナシを店頭で見つけて嬉しくなりました。シンポジウム会場で偶然隣に座ったのがトルコの研究者で、その方の研究対象もキウイフルーツとブドウ。研修で日本を訪れたことが有る研究者で、話しているうちに仲良くなりました。おかげで、今最も訪れてみたい国はトルコです。

休日には...

きれいになって 気持ちよく

掃除と洗濯が好きでよくやっています。天気がいいと朝から洗濯機を何回か回します。洗濯機の中はすっからかんですっきり。逆に雨が降ると鼻をくじかれたような気分になります。



果樹園には様々な種類の果樹があります。写真は満開に咲いた梨の野生種。小さな実もなりますが、あまりおいしくないとのこと。